

卓話 織田 吉郎バスターガバナー

だなあとしみじみと感じました。

できれば松戸北ロータリークラブの皆さんも、メイクアップなどなさせてそういう雰囲気味わっていただけて、よりいい例会ができるように目指したらいいかなと思います。東京クラブでは新入会者がイニシエーションスピーチというものをを行います。割礼の卓話という意味です。今年は聞いてないですが、330人の会員がいると、イニシエーションスピーチで一生一回の卓話しか出来ない。330人の会員でしかも、一部上場企業の社長で「時の人」も例外なく卓話をする。となりますと週1回の例会ですから入ったばかりの人には10~15年に一回しかチャンスがこない。そうしますとイニシエーションスピーチに全力を傾けて準備をする、そしてこれでもかというほどのスピーチを聞かせる、聞く方はどんなやつか品定めをするという環境があるわけです。今度イニシエーションスピーチのときに行って聞いてみたいと思います。東京クラブにはステキな方がたくさんいらっしゃいます。皆様も是非メイクアップしてみてください。

「魅力ある人間」とは

これまで私はいろいろな人に会いましたが魅力的な人って一言でいうと、どんな人だろうって考えております。今、思っておりますのは専門以外で絶対的な「座標軸」をもっている人じゃないかと思えます。

人が何と言おうと「俺はこの物差しをもっている」と潔く強く出られる人、これが「魅力ある人間」ではないかと私は思っています。自分の物差しをつくるためには何が必要なのかというと、一瞬一瞬の感動が、積み積み積もって光を発することで物差しになっていくのではないかなって思うんですね。

本を読み、音楽を聴き、芸術に親しむ、そして友と語り合う、伝統や文化に触れる。

あらゆる機会を使って小さな感動を感じ取る。それが自分の中に幸運をつくっていく。それが自分の物差しになっていく、そういう人って、魅力的で、切れ味の鋭いエッセイスト。自分の考えをキッパリといい、まず**迷わない、揺るがない、折れない、くじけない**、こういう強くて潔さをもっている人間。これは魅力ある人間とっていいのではないのでしょうか。

まず自分の物差しを通じて、社会に積極的にかかわっていきこうという人はステキです。こういう人になるために松戸北ロータリークラブさんでも「例会」はものすごい力を発揮しているはずなんです。

あとはそう感じるか 利用しているかどうか、それは皆さんにかかっています。

忙しい時間の中で話させていただきました。どうか「例会」が持っている影響力の大きさ、「例会」というのは、決して過少評価をしてはいけません。素晴らしいものなのです。国際ロータリーが「例会」に重点を置くのをやめて、今「奉仕活動」の方に重点を移そうとしている。そのことは、今度2013年規定審議会に出てきます、例会重視をやめて例会に出なくてもいいからお金を出しなさいということです。

もしかしたらそうなる、とんでもない話です。**ロータリーは、自分を磨いて職業を通じて、高い倫理で発信していく、ロータリーの原則のところを大切にしていきたい**と思います。ご静聴ありがとうございました。

(おわり)

第1910回 例会2012年3月13日(火)



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
・広報委員会》

委員長：伊藤 剛迪
委員：平田 洋一

副委員長：大川 隆永
委員：高崎 卓哉

財団BOX
3,768円

WEEKLY REP  RT国際ロータリー第2790地区第12分区
松戸北ロータリークラブ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1910回 例会 (第34週) 2012年 3月13日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
第2790地区ガバナー 山田修平
第12分区ガバナー補佐 安井克一
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗
松戸北ロータリークラブ幹事 児山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

 会長挨拶：鈴木悦朗

3月第2例会会長挨拶

皆さんこんにちは。今日は少し風が冷たいですけれど、いい天気ですね。三寒四温とはよくいったもので寒い日があり、またあたたかい日もあって、お彼岸くらいに気候が安定していきます。お寺の梅もようやく咲き始め、春への準備を重ねております。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」が、カルヤン・パネルジー会長の本年度RIテーマであります。全世界で平和について語る前にまず自分自身を見つめ直すこと。その後で外に目を向ける必要があるということです。

このテーマにはロータリーの綱領にある

5つの価値観

「親睦」

「奉仕の理想の追求」

「道徳水準を高めること」

「多様性」

「リーダーシップ」、

またロータリアンの持つ「情熱」「独創性」「寛大さ」への思いが込められています。入りて学び、出でて奉仕せよ "Enter to learn, Go forth to serve"

ロータリーの例会で学び、私たちひとりひとりのロータリアンが自分を磨き、それぞれの職業で輝いていく……。かつて東京ロータリークラブの故米山梅吉氏が「ロータリーの例会は人生の道場」といったように、私も、単なる「なかよしクラブ」ではなく、研修としての例会のあり方を常に追い求めていかねばならないと思っています。

私も入会后、諸先輩からご指導を受け、「ロータリーでは役職は断ってはいけない」、あるいはロータリーとは何か勉強して話さないといわれ、ポール・ハリスやシェルドン、ロータリーとライオンズの違いなどを勉強させていただきました。

リーマンショックや大震災を受けて「会員増強・退会防止」は、どこのクラブでも課題となっています。退会理由にはもちろん経済情勢もありますが、なぜロータリーなのかという認識が会員によってズレがあり、例会の運営がロータリーでなくてもできる地域のさまざまな会と同じような運営になってしまっているクラブが多いと言われています。

何よりも「例会の充実」からはじまり、私たち会員ひとりひとりがもっと「なぜロータリーなのか」を知らないといけないと思っております。たとえばロータリーで多様性を認めるといのは、あくまでも「ロータリーの綱領」の範囲内のことです。

先般申し上げましたように、3月はロータリー研修月間と位置づけ、今日はロータリアンとして尊敬する織田パストガバナー、3月27日の例会では白鳥パストガバナーに卓話をいただきます。

皆様とともに入りて学び、出でて奉仕せよ "Enter to learn, Go forth to serve" の思いで、親睦と研修の場であるクラブ例会の充実と奉仕活動に尽力してゆきたいと思っております。それでは今日もどうぞよろしくお願いたします。

 幹事報告：児山守治

例会変更のお知らせ

松戸西ロータリークラブ

3月 21日(水) 夜間移動例会
場所 北小金ボウル4月 4日(水) 桜を見る会
場所 東漸寺

卓話 織田 吉郎パストガバナー

第1910回 例会2012年3月13日(火)



皆さんこんにちは。

IMに続きまして お声をお掛けいただきまして、本当にありがとうございます。IMでお話をさせて頂いたものと重なるところがあると思いますし、資料を配っておいて時間がなくてお話できなかった「ロータリーの綱領」から「私達はなぜロータリーに集まっているか」ということについてお話をしたいと思います。また、綱領に関する資料がお手元に配られたと思いますが、もう一枚最近の読売新聞の記事でございますが、「なぜロータリーなのか」のお話をする前に、先ほど鈴木会長とお話している時、並木幸雄さんから東日本大震災支援の話はどうなっているのか報告するようにいわれましたので簡単にお話いたします。

東日本大震災支援について

ロータリーの東日本大震災支援について、この3月4日の日曜日の読売新聞に取り上げて下さいましたロータリークラブの会員からなる「震災遺児に奨学金制度」という記事のコピーをご覧ください。

ここに書いてありますように26人が3月1日現在で、すでに給付を受けています。今日の朝には30人に給付が増えておりました。また現在高校生でこの4月から大学に入学をする人も29名になって、したがってこの4月1日からは60人を超える形での給付がはじまります。事務局をやっておりますのですべての情報が入って参ります。口座も現在のところ千葉銀行銚子支店に4億5,000万円ありますが、このままいけば8年間このプログラムは運営できる状況でございます。この新聞を見た方が「私のお金を入れていいのか」とか連絡をくださる方がおります。

ロータリアンの奥様が、「私が死ぬまで毎月1万円入れさせていただきます」と言っていたり思わぬ反響があります。ただし、震災孤児は全体で5,700人いると伝えられ、また0～1歳の子が大学を卒業するまでこれを続けていくとしますと、あと4億5,000万円くらいが必要になってきます。しかし皆さんから集めるスタンスではなく入れてくださる方には口座番号を教える。この8年間に親を失くした子供たちが大学を卒業してそこで何を考え、どんな情報を発信していくのか、それを皆さんにお伝えして少しでもいいから、皆さんにも支援をお願いしたいと思います。その支援金がなくなったとき、このプログラムの終わりということになります。申請された中で、ひとりの高校生の女の子は、今まで 父・母・祖父・祖母・弟・妹・ひいおばあちゃんと自分の8人で暮らしていましたが、震災で7人を亡くし天涯孤独になってしまい、今は祖父のいとこの所に身を寄せています。お勉強の出来るお子さんで大学に行きたいという夢を持っていたんですが、前を見る事が出来ずにいたら先生に進められ大学を受けて合格したが、お金がない。

につづく



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」 Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

卓話 織田 吉郎バスターガバナー

そんなときにこのプログラムを聞いて、大学へ行ってみようかなと前向きになったそうです。他にもこういう話がいくらかもあるんです。女子高3年生が両親を失って中学2年生の弟をどうしても「高校に行かせたい、自分が働きに出るつもりだ」と弟のことを思っている時に、ロータリーの震災孤児奨学金が決め手となり彼女も大学に行くことにしたそうです。そういう例をみていると、いろいろご批判はありましたが、やはり我々のプログラムはやってよかったという訳でございます。事務局員がやるのではなく、ロータリアンが今これ全部やっております。ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員長 上野 操委員長(東京クラブ) 副委員長は私 織田 吉郎です。

問い合わせは(03-5250-2050)

又、随時、報告をさせていただきます。

私達はなぜロータリーに集まっているのか

松戸北ロータリークラブさんのデータを10年前から去年までを整理してみたら実にいいクラブだとわかります。平均年齢は地区の平均より下回っており、会員数も9%しか

下がっていない。あらゆるデータが健全であるというのを示している。私自身第12分区は地区をリードする分区だと思っており、だからこそ、こんないいクラブから呼んでいただいているのだと思っております。

ロータリーで何が一番大事なのか。忙しい毎日の中で週1回の例会に「なぜ集うんだ」ということに、これを皆で確認しているということがとても重要なことだと思います。何となく「どうせ昼飯食べるんだから、行って食べてもいいよね」という形で考えてる方もいらっしゃるでしょう。しかしそれでは残念な話で「**ロータリーは何のために集まるのか**」ここをきちんと確認しておきたい。というのが今日のテーマでございます。

1月の国際協議会で発表されたのは、この7年間で入会した会員が100万人、退会した会員が100万人、今現在の会員数が120万人だということです。皆さんどう思われますか？ロータリーってそんな安っぽい団体じゃないですよ。まず、100万人退会したというのがガックリくる。忙しい中、会合を持ち、出席していながら、きちんと確認されていない部分が相当程度あるのではないのでしょうか。入会して「ロータリーって何だろう？」とわからないまま、退会していく方がほとんどではないかと思われます。

につづく

 **ニコニコBOX**

児山守治幹事

暑さ寒さも彼岸までと申します。寒さももう少しの辛抱ですね！ここで一句

現世に 朧月かな 人見知り

今の世の中どちらを見てもかすんで見える世の中 的一句です。

創立40周年記念事業委員会

小林 弘実行委員長

本日例会後に実行委員会を開きます。

ゴルフ同好会 4月18日(水) の予定です



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

につづく

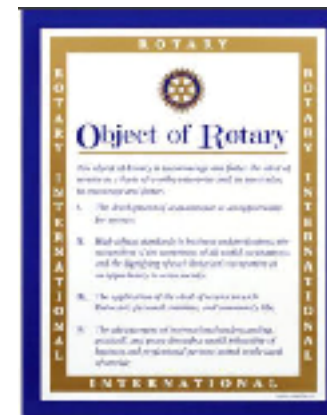
卓話 織田 吉郎バスターガバナー

第1910回 例会2012年3月13日(火)

多くの人たちが意義をきちんと知らないでやめていってしまう。ロータリーに集う目的はクラブの定款第4条に出ています。

お手元の資料を見ていただきます。ロータリーの綱領です。第15条を見てください。綱領の受諾と定款・細則の遵守とあります。「会員は、入会金と会費を支払うことによって、綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。」

つまり、ロータリアンになると受諾した段階で「あなたは綱領にしばられますよ、綱領を守る義務が生じますよ」ということをいっているんですね。じゃ綱領って何？と問うと意外と答えられないんですね。そこで綱領についてお話をいたします。



Object of Rotary 単数であることにご注目いただきたい、単数でなく、複数のObjectsであれば第1、第2、第3、第4という方向を指すんですが、単数ですから主文を指します。

すなわち「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。」

非常に聞きなれない言葉が並びます。この表の右側が東京の2580地区の佐藤千壽さん(バスターガバナー)のまとめた「**やさしい綱領の話**」から引用したものです。佐藤千壽さん訳の主文を読みませう。

「どんな職業でも“利益は奉仕に対するご褒美として与えられるものでなければならぬ”と言うのがロータリーで言う『奉仕の理想』である。だからそういう理想を更に一層高めて、これを世界中に広げていくのが私たち会員の目的であり、その為には特に次に述べる4つのことが大切である。

- 1、こういう奉仕の理想に賛成してくれる仲間をたくさん増やすこと。これは「クラブ奉仕」ですね。
- 2、誰から見ても道徳的に怪しまれることがないよう、誠実に良心的な仕事をする。職業上の取引は対等であって、仕事に上下の差はない。いつもお互いに相手の立場を尊重し感謝すること。社会に奉仕するための職業なのだから、自分の職業は品位あるものでなければならない。これは「職業奉仕」です。
- 3、私たち会員は個人的な日常生活でも職場でも、また広く社会的な関係でも、常にみんなのためになるかどうかを考え、奉仕の精神で行動しなければならない。これは「社会奉仕」の心です。
- 4、こういう奉仕の理想を身につけて、それぞれの仕事に精出している世界中の人々と友達になり、相手の国のこともよく理解し合って、戦争のない平和な世界を作ること。これが「国際奉仕」の考え方です。

ここで注目したいのは、やはり主文であります。結局、綱領を一言で表すと自分の利益のみを追求してしまうのを、制御しようということだろうと思います。**自分の利益だけを考えるといいじゃないかという欲望を制御するものであります。そういう人間になっていいじゃないかというのがロータリーの綱領は示しているのだ**と思います。

につづく

卓話 織田 吉郎バスター

例会は自分を磨く道場である

まず、先ほど鈴木悦朗会長のお話からありました「例会は自分を磨く道場である。」です。週に1回例会は開いているわけですけど、じゃ「自分を磨いてくれる人ってどこにいる？」と思うことありませんでしょうか。みんなの仲間の顔を一人ひとり思い出しても自分を磨いてくれるには足りないなあと思ったりする人だっていると思います。ところが私は全然そうは思いません。自分以外のすべての会員というのはおそらく自分を伸ばしてくれる、磨いてくれる人達だろうというふうに思っています。昨年、皆様にクラブ協議会か、例会でお会いした時に、ロータリーで一番大切なことは、**日ごろま**と**っている體をぬいで例会場に入ってほしい**とお願いしていたかと思えます。そうすることで会員全員が平等であるということ、そういう認識を持つことが出来る。社会的な地位であるとか、資産、学歴であるとか、年齢等のいわゆる世俗の論理をこの例会場に持ち込まないでほしいと申しました。そうすることによって「**均一的平等の世界**」をこの中に作っていかうという事は一番重要なことではないでしょうか。私は昨年度織田ガバナーとお願いしていたんですが、今は織田バスターといわれます。その度に「織田さんにしてください」とお願いをするのですが、やはりガバナーというのは私にとって仮の姿なんです。ロータリアンである人生のほんのひと時の仮の姿でありまして、仮の姿から戻ったとき、その時が私の本質が現れる時だろうと思っているんです。バスターといわれるのは大変に居心地がいいです。つまり仮の姿で呼ばれるより「織田さん」といわれた方が、緊張感があります。もうガバナーではないのですから均一的平等には邪魔になるからです。公式行事でバスターと呼ばれるのはこれはいたしかたないですが、個人的付き合いでは「織田さん」とお願いしたい。

につづく

一人ひとりの精神とは心がけの問題ではない「心がけがいいから、あの人は性格がよくなったね」ということでなく、**生まれてからこれまで、絶え間なく自分を通過していき出来事が積み積もってその人の性格を作っている。**「**自分で自分の性格を作るのではなく他人が作っていつてくれている。**」と考えるべきものであると思っています。例会では、地域のそれぞれの業界の代表が揃っている、やっぱりこれは大きいと思います。大変大きな存在になっているはず。ポールハリスは「実業界とは、おおむね自己教育の現場に恵まれている。ロータリーはそういう欠陥を補う機会を提供してくれるところ。」一国一城の主が集まってくる。違った感受性を持つて人、そういう人たちから受ける影響は大きいと思うんですね。これがロータリーにいることの意味であろうと私は思っています。やめていく人の中には「私は友達はいっぱいいる、ロータリーに入る必要はない」という人がいるかもしれません。しかしその人たちの友達は自分にとって都合のいい友達、自分と気が合う友達、趣味が同じ友達というところに留まるんじゃないでしょうか。

人生の中で必要な栄養素を提供してくれている

私は人間が社会的な存在として生きていく上で必要な栄養素として考えると、自分と非常に気があって、いつでも自分のことを助けてくれて、共感してくれるという友達。

こういう人とばかり会っていると栄養素が偏ると思います。中にはくせのある人間、自分と意見の合わない人間、しゃくにさわるやつ、こういう人達がいて、これが**人生の中で必要な栄養素を提供してくれている**というものです。ロータリアンの皆さんはみんな個性豊かですから、それぞれすごい栄養を持っていて、

につづく

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけてよう

卓話 織田 吉郎バスター

自分にその栄養を与えてくれている。皆さんが思っている以上に、この例会の教育力は大きいとお考え頂きたい。

私は20年間ロータリーに入っていてあまり付き合ったことが無い人、あんまりしゃべったことがないけれど、20年間たまるとその人の哲学が伝わってくる。他の人と比べると、なんとなく、どこか違う、しかし品がある人に出会う。これが、例会が持つて教育力であります。これを理解しない人が退会していく、これは私の主観なんですけど、専門職、専門性の高い職業についている人、世間から尊敬されてないという叱られてしまうかもしれませんが、世間に疎いというか、そう思われがちの方は、「部分的筋トレ」をしているのと同じで、自分の専門分野を持ちながらも、どうも尊敬されないところがあります。だけどよく考えてみると、私たちは一人ひとりみんな、「部分的筋トレ」をやっている人ばかりですね。

特に私なんか建築設計が専門分野ですが、相当偏った筋トレをやってきた人間ですけど、41歳でロータリーに入会させていただいて、ロータリアンの皆さんそれぞれ違う筋肉を動かしているのを見て、すごく参考になりました。自分がロータリーに入っていなかったら、今エライことになっていただろうと、自分で思っています。皆さんもそれぞれ違ったところを動かしている人だから面白いんだってそういう考えで見ただければと思います。だいたい全人格的に尊敬ができる人は、めったにいないものではないと思っています。

奥さんだったら、全部人格を知らなきゃいけないし、自分の子供だったら半分は知っていなければいけないかもしれません。友達は、一部分・その一点で一生涯付き合っていくその一部分だけを見つけあう、そして「一生涯友達」

として付き合っていく。

松戸北ロータリークラブの会員の皆さんもそういう視点を持てば、それぞれがものすごく魅力ある人間に見えてくるはず。魅力的なところを見つけられないならば「貴方の眼力がない」といわざるを得ないと思います。

ロータリーという学校

アインシュタインが「**学校で学んだことを一切忘れてしまった時に、なおかつ残っているもの、それが教育である。**」と仰っています。ロータリーも同じだと思います。

例会で今日は感動的な話をもらったというのはめったにあるものではありません。ただ今日はちょっとした顔つき、ちょっとした話、それを聞いて小さな刺激を受けた。それで気づくんですね。それが積み積もってあなたの性格や人生を作っていくんです。そういう風に私は考えるべきではないかと思っています。**ロータリーという学校**が持っている教育力というのはとても大きい、私は日に日に感じております。皆さんももう一度、お考えになってほしいと思います。

先日 東京ロータリークラブに招かれていただきましたが、国内最大の330名の会員がいて、顔を見ると新聞、テレビ等どこかで見たことがある方が多いです。このクラブのすごいところは、会長・幹事が話をすると それまで話しながら食事をしてたのが、ピタッととまるんです。シーンと水を打ったようになります。会長が肅々と挨拶し、幹事の報告を静粛に聞いて、卓話者である話を真剣に聞いてくれて、これは本当に素晴らしい例会でございました。私に対するもてなしも実にスマートで行き届いていて、こういうクラブの例会に普段出ていると、自然に身についていく

につづく



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」 Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。